

三田キャンパス内にいるときに大地震が発生したら

「災害・緊急時ポケットガイド」もあわせて、よく読んでください。

1. 地震発生：あわてない！まず、その場で自分の身を守る

- (1) 周囲の窓・棚・天井から、割れたガラスや物が落ちそうな場所から離れる。
- (2) 机の下にもぐる。バッグや衣類などで頭を覆い、落下物から身を守る。
- (3) 余裕があれば、ドアを開け、出口を確保する。
- (4) エレベーターに乗っているときは、自動的に停止した階で降りる。閉じ込められた場合は、非常ボタンやインターフォンで外部と連絡をとり、救助を待つ。
- (5) 中庭など建物外にいるときは、落下物に注意し、揺れがおさまるのを待つ。

2. 揺れがおさまったら：自分のいる場所の安全を確認する

- (1) 室内の設備の転倒・ガラスの飛散がないか。
- (2) 建物にひびが入っているか、傾いていないか。
- (3) 建物内で、火災が発生していないか。

3. 今、どこにいるか

- (1) 建物内にいる場合
原則として、本震・余震の場合も建物内で待機する。
- (2) 屋外にいる場合
状況を確認して、中庭に避難する。

4. 避難するときの注意点

- (1) 非常放送や教職員からの指示があった場合は、その指示に従う。
- (2) エレベーターは絶対に使わない。階段を使う。
- (3) 押しあわず、走らない。パニックにならないよう、お互いに声をかけながら避難する。
- (4) 忘れ物があっても、元の場所に戻らない。

5. 火災が発生したら

- (1) 火災を見つけたら、大声で周りに人に知らせ、近くの火災報知器のボタンを押す。
- (2) 火元から速やかに離れ、建物外へ避難する。
- (3) 構内アナウンスに従って中庭等に避難する。

6. 停電したら

- (1) 授業中の場合は、担当教員の指示に従って避難する。
- (2) 避難の際は、懐中電灯や携帯電話のライト機能を利用して、足元に気をつけながら落ち着いて避難する。

7. 学内での待機について

- (1) 無理に帰宅をしないで、原則大学にて待機する。
- (2) キャンパスで長時間すごせるように待機場所と食品が提供されるので、大学の指示に従って、待機場所に移動する。
- (3) 大学から帰宅の許可に関するアナウンスがされてから帰宅する。

以上